

授業科目 臨床実習 I

【担当教員名】 追手 巍、牧口 智夫		対象学年	4	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	180
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○			◎	○	
【概要・一般目標：GIO】 臨床技術者として臨床工学技士の行う業務等について臨床現場の見学実習により、学内で学んだことを再認識すると同時に実的な技術を習得する。またチーム医療における臨床技術者としての役割と、関連他職種との関わりについて理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>血液浄化療法業務の基本的な装置操作・管理法と患者管理法を理解する。</li> <li>人工心肺業務の基本的な装置操作・管理法を理解する。</li> <li>心臓カテーテル業務の基本的な装置操作・管理法を理解する。</li> <li>手術室業務を見学実習を理解する。</li> <li>ICU・CCU 及び救命救急センター業務を理解する。</li> <li>人工呼吸療法業務の基本的な装置操作・管理法と患者管理法を理解する。</li> <li>内視鏡業務を理解する。</li> <li>各種医療機器の保守点検業務を理解する。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	血液浄化療法業務の実際			1	臨床実習
	人工心肺業務の実際			2	臨床実習
	心臓カテーテル業務の実際			3	臨床実習
	手術室業務の実際			4	臨床実習
	ICU・CCU 救命救急センター業務の実際			5	臨床実習
	人工呼吸療法業務の実際			6	臨床実習
	内視鏡業務の実際			7	臨床実習
	医療機器保守点検業務の実際			8	臨床実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		臨床実習ガイドブックを配布する。			
【評価方法】 出欠、セミナー発表、レポート提出および臨床実習状況を総合的に評価する。			【履修上の留意点】 臨床実習は、医療の現場で先輩の臨床工学技士がどのように医療と関わっているかを知ることが第一目的であるから、真摯な態度で実習に取り組んで欲しい。		